

科目名 Course Name	音楽理論 Music Theory			ナンバリング No.	A2-025		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	岡泉志のぶ						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>音楽を読み解くためには、音楽上の様々な知識と理論を知る必要がある。そのためこの授業では、音楽の基礎的知識と用語を学習し、その上で、音楽の様々な事象を学習する。また、西洋音楽の知識をもとに、さまざまな時代・地域・ジャンルの音楽を理解することで、幅広い知識と豊かな感性を身につけることを目的とする。</p> <p>この授業の到達目標は、以下の4つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 音楽への関心を高め、音楽的な教養を身につけられることができるようにする。 ② 五線記譜法の基礎に関して、音符や休符・音部記号・臨時記号・調号の使い方、音価表記の仕方、拍子記号の使用法など、基本的知識を理解して、読譜・記譜できるようにする。 ③ 音楽を構成する3つの要素(リズム、メロディ、ハーモニー)や音楽様式を認識して、音楽鑑賞をすることや演奏ができるようにする。 ④ 幅広い音楽を知り、音楽的知識を身につけることで、豊かな感性を身につけることができるようにする。 						
授業の方法	講義では、音楽的な理論について解説し、問題を解いていく。また、ディスカッションも取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。						
学習成果	L01	幅広い音楽への興味や関心が高まり、豊かな感性と音楽教養を身につけることができる。					
	L02	西洋音楽のみならず、世界の音楽に興味・関心を持ち、総合的に音楽の必要性を感じることができる。また、幅広い作品を身近な音楽として鑑賞することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	各授業にて事前事後で学習したことを「事後学習シート」に記入して提出をする。小テストは(第6、13回目)とし、翌週の授業で返却する。						
教科書/参考図書	教科書(問題集付):新装版 楽典 理論と実習 石桁真礼生・他						
履修上の留意点やルール等	●主に編入を希望するための科目であるが、編入を希望していない場合も受講は可能とする。但し、授業内容を確認して受講をしていただきたい。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:高校教諭 職歴10年、ピアノ講師 職歴20年) 高校音楽、ピアノ教室での音楽理論(同教科書使用)の指導経験を理論の解説で活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業には積極的に参加し、ディスカッションの姿勢を評価する。事前事後学習の「事後学習シート」の提出、実施状況も評価する。	20			
レポート/作品	自ら選曲した「リラックス音楽」のレポートを提出する。		20		
発表					
小テスト	各項目にて小テストを2回(各30点)実施する。		60		
試験					
その他					
合計		20	80		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、音楽知識の必要性について
	事前・事後学習	教科書を活用し、これまでの自分の音楽的知識や楽典について認識する。
2	授業内容	音楽の三要素、純正律と十二平均律
	事前・事後学習	教科書 p. 10～23 を五線譜にまとめる。
3	授業内容	音名と譜表
	事前・事後学習	教科書問題集：音名と譜表 問題1～3を解く。
4	授業内容	音符と休符：単純音符・休符から複付点音符・休符の種類と長さ
	事前・事後学習	音符と休符の練習問題1～9を解く。
5	授業内容	リズムと拍子：拍と拍子、拍子の種類と記法
	事前・事後学習	リズムと拍子を練習問題で復習する。
6	授業内容	音楽理論（音符・休符・リズム・拍子）の振り返り 小テストの実施
	事前・事後学習	これまでの復習：音名と譜表、ドリルを活用する。
7	授業内容	音程① 音程における完全・長・短の種類
	事前・事後学習	教科書問題集：音程 問題1～7を解く。
8	授業内容	音程② 音程の回転
	事前・事後学習	教科書問題集：音程 問題8～14を解く。
9	授業内容	音階① 長音階と短音階
	事前・事後学習	教科書問題集：音階と調 問題1～9を解く。
10	授業内容	音階② 調の判定・調の相互関係
	事前・事後学習	教科書問題集：音階と調 問題10～19を解く。
11	授業内容	和音① 三和音と七の和音
	事前・事後学習	教科書問題集：和音 問題1～5を解く。
12	授業内容	和音② 主要三和音と副三和音
	事前・事後学習	教科書問題集：和音 問題6～11を解く。
13	授業内容	音楽理論（音程・音階・和音）の振り返り 小テストの実施
	事前・事後学習	教科書問題集：移調 問題1～6を解く。
14	授業内容	速さ・強さに関する表示法 リラックス音楽①
	事前・事後学習	教科書問題集：楽語・その他 問題1～6を解く。
15	授業内容	曲想・奏法に関する表示法 リラックス音楽②
	事前・事後学習	これまでの練習問題を解く。音楽鑑賞をし、リラックス効果を高める。